

市の人事行政の運営などの状況

問い合わせ 総務課 ☎59-2122

人事行政の透明性を高めることを目的として、令和2年度における市職員の給与や職員数などの状況を公表します。詳細は、市ホームページに掲載しています。

人件費の状況（普通会計決算）

住民基本台帳人口	歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率（B/A）	（参考）令和元年度の人件費率
26,616人	20,054百万円	34百万円	2,662百万円	13.3%	17.1%

（注）住民基本台帳人口は、令和3年1月1日現在の人口です。

職員給与費の状況（普通会計決算）

職員数（A）	給与費			1人当たり給与費（B/A）
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	
259人	1,026,623千円	188,769千円	416,198千円	6,300千円

（注）1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、令和2年4月1日現在の人数です。
3 給与費については、再任用短時間勤務職員の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません。

職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和3年4月1日現在）

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額（国比較ベース）
大竹市	41.7歳	327,050円	412,541円	355,270円
広島県	43.6歳	332,493円	413,360円	371,271円
国	43.0歳	325,827円	-	407,153円

（注）1 「平均給料月額」とは、令和3年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均です。
2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、通勤手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
3 「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当などを除いたもの）で算出したものです。

特別職の報酬等の状況（令和2年4月1日現在）

区分	給料月額等
市長	860,000円
副市長	700,000円
教育長	620,000円
議長	473,000円
副議長	422,000円
議員	370,000円



職員数の状況（各年4月1日現在） 【部門別職員数の状況と主な増減理由】

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		令和2年	令和3年		
普通会計部門	議会	5	5		
	総務・企画	58	58		
	税務	15	15		
	農林水産	5	5		
	商工	4	4		
	民生	57	60	3	・欠員補充による増 ・業務の充実に伴う増
	衛生	16	18	2	
	土木	31	31		
	計	191	196	5	<参考> 人口1万当たり職員数 73.77人
	教育	22	22		
普通会計部門	消防	46	47	1	・欠員補充による増
	小計	259	265	6	<参考> 人口1万当たり職員数 99.74人
	水道	9	9		
公営企業等	下水道	6	6		
	その他	15	15		
	小計	30	30		
合計	289	295	6	<参考> 人口1万当たり職員数 111.03人	

（注）職員数は、一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時および非常勤職員を除いています。

岩国基地に所属する米軍機による大竹市の騒音状況

問い合わせ 危機管理課 ☎59-2119

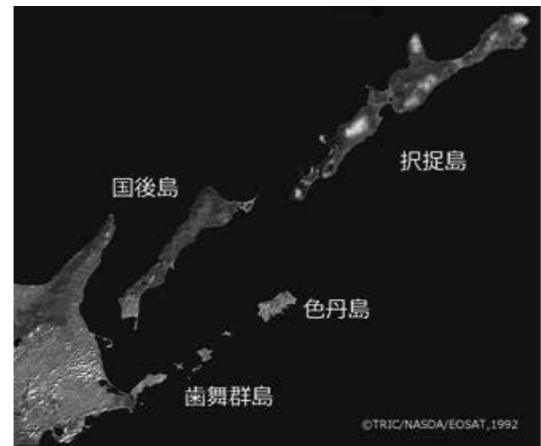
国設置の騒音測定器による航空機騒音（70dB以上）の発生状況

測定地点 (国測定器設置箇所)	移駐完了前 H29年度 上半期 (A)	移駐完了後				対H29増加 回数(倍率) (E-A) (E/A)	対R2増加 回数(倍率) (E-D) (E/D)
		H30年度 上半期 (B)	R元年度 上半期 (C)	R2年度 上半期 (D)	R3年度 上半期 (E)		
6地点合計 (荒神原、戸河内除く)	1,509回	2,636回	3,080回	2,179回	2,742回	1,233回 (1.8倍)	563回 (1.3倍)
岩国基地周辺							
大竹市 阿多田島	832回	1,686回	1,843回	1,182回	1,399回	567回 (1.7倍)	217回 (1.2倍)
大竹市 西米	52回	53回	45回	54回	111回	59回 (2.1倍)	57回 (2.1倍)
廿日市市 宮島	86回	162回	185回	210回	320回	234回 (3.7倍)	110回 (1.5倍)
廿日市市 八坂公園	162回	305回	429回	248回	328回	166回 (2.0倍)	80回 (1.3倍)
江田島市 沖美	32回	88回	58回	47回	64回	32回 (2.0倍)	17回 (1.4倍)
訓練空域							
北広島町 西八幡原	345回	342回	520回	438回	520回	175回 (1.5倍)	82回 (1.2倍)
参考 北広島町 荒神原	—	266回	325回	275回	376回	—	101回 (1.4倍)
安芸太田町 戸河内	—	83回	85回	54回	89回	—	35回 (1.6倍)

（注）中国四国防衛局公表資料を基に作成。欠測期間を含む場合がある。

大竹市では、岩国基地の米軍機による騒音が発生しており、特に阿多田島では大きな問題となつていいます。表は、広島県が、移駐完了前後の騒音発生状況と市町村からの報告をもとに、半年ごとに集計し、取りまとめたものです。（今回は令和3年度上半期分）

県内6地点の騒音測定器で、70dB以上（大声を出さなければ会話が聞き取れない）が計測された回数は、空母艦載機の移駐完了前の平成29年度と比べて、西米で2.1倍、阿多田島で1.7倍になっており、大幅に増加しています。



手を繋ぎ 返還願う 大きな輪 2月7日は北方領土の日



問い合わせ 自治振興課 ☎59-2145

1855年2月7日に締結された「日露通好条約」で、日本とロシアの国境線が決まり、歯舞群島、国後島、色丹島、択捉島の北方領土は、国際的にも日本の領土となりました。しかし、1945年に北方四島が旧ソ連に占領されて以降、現在に至るまで不法占拠が続いています。北方領土の日を中心に全国各地で講演会や返還実現のための署名活動など、さまざまな取り組みが行われ、本市でも次の活動を行います。



街頭キャンペーン
大竹市自治会連合会女性部会、大竹青年会議所、広島県隊友会西部支部、連合広島大竹廿日市地域協議会の協力で街頭啓発活動を行います。
とき 2月7日(月)11時～12時
ところ ゆめタウン大竹周辺